

# ふながた



発行：山形県舟形町議会  
平成30年7月27日



ふながた  
WAKU WAKU WORK  
17Pに説明があります。

地域にも就職したくなる会社たくさんあるよ

5月臨時会、6月定例会概要・質疑応答……	2 P
町政を問う 一般質問に3議員……………	5 P
議会報告会を開催しました……………	9 P
議会報モニターより……………	13 P
議会活動……………	15 P
えがったなあ・町民の声・編集後記……	18 P



子どもたちに地域や仕事の魅力を伝える



子どもたちの安全安心に貢献

**議員** スクールバスの入札業者は何社か。  
教育課長 入札業者は、町の整備および物件購入登録業者5社と、今回のバスの対象車種を扱っている業者2社で、7社になります。

### スクールバスの取得に係る物件購入契約の締結

## 第2回臨時会

# 質疑 応答

### 一般会計補正予算の専決処分の承認

**議員** ふるさと納税が予想以上に伸びているようだが、その内容は。  
**総務課長** 当初6億円を予算化し、3月定例会で2億円の補正をして8億円を想定していましたが、10億円に達する見込みとなりましたので、2億円追加補正をしました。

## 6月定例会

### 平成29年度(株)舟形町振興公社経営状況の報告

**議員** コテージ光熱費が175千円増えている、また温泉光熱費は大幅に減っている、その理由は。  
**まちづくり課長** コテージ光熱費の増は、灯油単価の値上がりと、和洋タイプのコテージ利用さらに冬季間の利用が増えたことによるものです。温泉光熱費の減は改築工事により休業があったためです。

**議員** 加工所の正式名称と、今後の施設運営はどのように考えているのか。  
**まちづくり課長** 名称は「舟形町農林水産物加工施設」です。これまで商品開発に力を注ぎ200以上の商品を作りましたが、29年度から採算ベースに乗れる商品に特化していき、経営改善を図っています。



この度の改正により補助対象になる付属建物

**議員** 空き家対策事業で今回650万円補正しているが、その内容は。  
**危機管理室長** 今回は老朽危険空き家、小屋付3件150万円×3件で450万円、管理不全な空き家1件100万円、老朽危険小屋50万円×2件で100万円、計650万円となっています。  
**町長** 今後また要望がきたら、できる限り予算化して、危険な空き家を減らしていきたいと考えています。

### 平成30年度一般会計補正予算

第2回臨時会  
5月8日  
6月定例会  
6日5日~7日

# きめ細やかな除雪に対応 大型・小型ロータリ除雪車を購入

# 7009万円

6月定例会は、5日から7日までの会期で開催され、3人の一般質問に続き、一般会計等、全議案を原案どおり賛成多数により可決しました。

## 主な審議された議案

### 第2回臨時会

- 平成29年度一般会計補正予算の専決処分の承認
  - 税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認
  - 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認
  - 一般会計補正予算<sup>※</sup>繰越明許費計算書の報告
  - スクールバスの取得に係る物件購入契約の締結(相手方 もがみ中央農業協同組合)
- ### 6月定例会
- 平成29年度(株)舟形町振興公社経営状況の報告
  - 平成30年度一般会計補正予算
  - 平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算
  - 税条例の一部を改正する条例の制定
  - 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
  - ロータリ除雪車の取得に係る物件購入契約の締結
  - 小型動力ポンプ付消防積載車の取得に係る物件購入契約の締結

※(繰越明許費)予算のうち、年度内に支出が終了しない見込みの経費で、翌年度に繰越し使用できるもの

# 町政を問う

## 一般質問に3人が登壇

### 一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。

### 奥山 謙三 議員

6ページ

- 1 危険と想定される空き家（特定空家等）対策を問う

### 伊藤 欽一 議員

8ページ

- 1 結婚祝い金の支給条件について問う
- 2 ペットの火葬料金について問う

### 斎藤 好彦 議員

7ページ

- 1 地域で子どもを守る取り組みを
- 2 交流人口増加策で町活性化を

※ 紙面の都合により、質問は1人2問までの内容を要約して掲載しています。会議録の詳細は、町ホームページに掲載しますのでご覧ください。

## 県大会出場おめでとう



舟形小学校 リレーアベック出場



今日の給食おいしい人“はーい”

**議員** 日本一の給食食育推進事業で、103万円増額補正しているが、具体的な使い道は。

**教育課長** 今回の補正は、地産・地消の推進及び食文化の継承を行うために使用します。

**議員** 県から学校給食委託金が支給されているが、内容と選定された経緯について。

**教育課長** 文科省と各県の教育庁が委託する事業で、各県1校が対象です。日本一の給食食育事業を実施していることから、舟形町が選定されました。

**議員** 交通安全事業費当初で高齢者安全自動車の購入費10台分で50万円予算化していたが、さらに14台分70万円補正した根拠は。

**危機管理室長** 4月の申請が4件あり、実績をもとに上半期不足分として14台分補正しました。

**議員** 高齢者コミュニティセンター施設整備補助金の内容は。

**健康福祉課長** 幅町内にあるコミセンのトイレ洋式化に係る補助金で、工事費の二分の一、または一世帯当たり上限1万円の規定があります。

### 農業集落排水事業特別会計補正予算

**議員** 工事請負費28万円の内訳は。

**地域整備課長** 堀内根渡地区の町有地（旧教員住宅）を4月に売却した所に、公共汚水樹を設置する工事です。

### ロータリ除雪車の取得に係る物件購入契約の締結

**議員** 大型・小型車の内訳、助成、入札の内容は。

**地域整備課長** 設計価格で大型車4319万円、小型車2878万円に対し、2社の競争入札で、落札率97・39%、7009万円で契約しました。大型車についても社総交事業の内示がつかず、単独事業となります。

### 発議第1号

#### 町長が専決処分することのできる事項の指定について

町長において専決処分することのできる事項を次のとおり指定する。

一、法律上その義務に属する損害賠償の額を1件につき30万円以下で定めること。

二、議決を経た契約事項が設計変更等により契約の変更を要する場合の額は本契約の5%以内で定めること。

この指定は、平成30年6月7日から施行する。

※専決処分：議会の権限に属する事項について、町村長が議会に代わって意思決定を行うこと。



齋藤 好彦 議員

# 地域で子どもを守る取り組みを

## 危険箇所マップ作成で安全対策

**質問** 県内での通学路で不審者に声を掛けられるなどの事案が、3月以降10件以上確認され、本町でも同様のケースが報告されています。危険な目に遭わないための策として、子ども・親・地域住民一体での「地域安全マップ」作成が普及しています。このような地域による取り組みについて、町長の考えを伺います。

**町長** 本町では、「地域安全マップ」に代わる、「災害や交通安全等の「危険箇所マップ」を作成しています。また、地域の方々が学校のために様々な提言をしたり支援したりする、学校運営協議会が平成29年度に組織され、「下校時の見守りや下校後の遊びの見回り、学校行事への積極的参加、学びやすい環境づくり支援



地域の協力で子どもを見守る「こども110番」

**質問** 仙台市の中学校教育旅行も11年の長い歴史を閉じ、昨年度で終了しました。受け入れ環境が課題ではあるものの残念に感じています。今後とも人口減少を食い止めることが不可能な現状において、交流人口による一時的な町のにぎわいから町の活性化に結び付けられるような、交流人口の増加策を講ずる必要があると考えます。町長の考えを伺います。

**町長** 交流人口を拡大して町の活性化につなげることは、第6次舟形町総合発展計画の中でも、町民参加による観光まちづくりの推進、町民の観光意識の醸成、訪問・満足度の向上を掲げ取り組んできました。

今後は、舟形町には国宝土偶縄文の女神や自然と調和した数多くの観光施設があり、それらを活用しながら、本町着地型の都市交流事業を推進していきたいと考えています。



最上町に民泊し、舟形でソバ打ち体験を楽しむ仙台市の中学生



奥山 謙三 議員

# 危険と想定される空き家(特定空き家等)対策を問う

## 条例改正や制度確立を検討し解体を進める

### 空き家等の解体に使える補助金が変わりました

山形県舟形町住民税務課

主に何が変わったの？

これまでは、対象者が非課税世帯だけであったり、小屋や作業所だった空き家には補助金を使うことができませんでした。このたび、舟形町に空き家を所有する方や相続人のみなさんが使いやすいよう、補助金の要件を拡充したほか、補助額を増額しました。

要件	町民税所得割非課税世帯以外も対象になりました	拡充
補助額	住宅	上限50万円→100万円(費用の2分の1) 増額
	住宅以外の付属建物	上限50万円(費用の2分の1) 新設

※1. 000円未満の端数が生じた場合は、端数を切り捨てた額です。  
例) 501,543円→501,000円  
※補助金の交付は、住宅と付属建物それぞれ1回に限ります。

**質問** 町では平成30年度主要施策に、舟形町空き家除却補助金の要綱を全面改正し、利用しやすい補助金にしました。改正のポイントは、要件の緩和、補助額の増額等となっています。今回の改正により、「危険と想定される空き家(特定空き家等)」についても、代執行措置も含めた具体的な解決策を質問します。

は平成29年11月10日調査時点で舟形町には13軒ありますが、具体的に解体に進むとは考えられないと思います。今後可能となるよう実行策を進めるものと思いますが、「危険と想定される空き家(特定空き家等)」について、代執行措置も含めた具体的な解決策を質問します。

**町長** 今年3月に補助要綱を改正しました。今年の豪雪での空き家の状況を考慮し、より多くの方が補助要件に該当するよう改め、補助対象者の町民税所得割非課税世帯という要件を外し、補助額上限を50万円から100万円に引き上げ、さらに付属建物等も対象とし、その補助額は対象費用の

2分の1若しくは50万円を限度としました。また、45歳未満の町民の方及び移住を希望される方が空き家を取得し、解体して新築する場合も補助対象としました。要綱改正後計7件の相談を受けています。その内4件は平成29年11月調査時点の老朽危険空き家になっています。行政代執行を行なった場合、解体費用を回収出来ないことが想定されます。また、所有者より損害賠償請求の訴訟を提起される可能性もあります。今後、この補助制度の周知徹底、解体促進を図りつつ、引き続き緊急の危険を回避するための緊急安全代行措置の条例改正や、行政代執行ができるような制度確立を検討していきます。

2分の1若しくは50万円を限度としました。また、45歳未満の町民の方及び移住を希望される方が空き家を取得し、解体して新築する場合も補助対象としました。要綱改正後計7件の相談を受けています。その内4件は平成29年11月調査時点の老朽危険空き家になっています。行政代執行を行なった場合、解体費用を回収出来ないことが想定されます。また、所有者より損害賠償請求の訴訟を提起される可能性もあります。今後、この補助制度の周知徹底、解体促進を図りつつ、引き続き緊急の危険を回避するための緊急安全代行措置の条例改正や、行政代執行ができるような制度確立を検討していきます。



空き家等の解体に使える補助金が変わったことにより解体が検討されています。

**町長** この件については、町内会長会議及び民生児

**質問** 助言、指導及び勧告の対象になっている空き家の除却について、町内会長、民生児童委員に同意を求めるのは困難ではないか。

町長 助言、指導及び勧告の対象になっている空き家の除却については、5月1日付けで要綱の見直しを図り、空き家になっている対象物件について「意見を聴取する」に改めています。



伊藤 欽一 議員

# 結婚祝い金支給条件について問う

## 要件を見直し次期も支給継続

**質問** 町内に在住されている方々の結婚を祝福するとともに、若者の定住促進・町の活性化を目的とし結婚祝い金を支給していますが、原則40歳未満の方は消防団に加入していることと明記されています。祝い金支給目的の公平性からみれば、い

かなものかと思えますが、町長の考えを伺います。

**町長** 舟形町結婚祝い金交付要綱は、平成26年4月1日から施行しており、要件を満たす方に申請時に現金を5万円、1年後にもがみ南部商工会が発行する商品券5万円分を交付しています。

「原則40歳未満の方は消防団に加入していること」の要件は、支給申請書兼同意書の様式の中に、カッコ書きで明記しています。

現在の結婚祝い金交付要綱は今年度末が終期となっておりますが、男女間の取り扱いにも違いがあるので要件を見直し、次期も継続して取り組みたいと考えています。

**ペットの火葬料金について問う**

他町村の動向をみながら検討

**質問** 最上郡内で動物の火葬ができるのは、「新庄・最上さくらが丘斎苑」だけです。ペットは家族の一員でもあり、心の拠所たよりどころに感じている方も多くいます。また、介護福祉の現場においても、アニマルセラピー効果を実証されています。平成29年度火葬件数は368件で、舟形町からは12件でした。火葬料金は、新庄市と最上町が5100円で、その他町村は20500円になっていますが、料金の半額程度を補助する考えはないか、町長に伺います。



ペットとのふれあいで笑顔で表情豊かに

**町長** ペットと暮らすことで愛情や命の素晴らしさを感じ、生活に潤いとお喜びを与えてくれる等、様々な恩恵を受けることができますが、一緒に過ごした掛け替えのないペットが亡くなったときの悲しみは深いものがあります。平成29年度の舟形町における犬の登録件数は201頭で、21頭が死亡のため登録を抹消して

います。火葬炉の新設を考えた場合ですが、300万円ほどの経費が必要と聞いていますので、大蔵村との協議が必要となります。

## 第10回議会報告会

4月11日～12日に議会報告会を開催し、各会場で行った質問や意見を議員全員で検討しました。主な質問と回答は次のとおりです。

### 議会に対する質問・意見

**質問** 議員定数は現在の定数で足りているのか。

**回答** 定例議会等のほか、様々な町の行事等への出席や所管事務調査など、議員の負担も大きくなってきています。近年は議員のなり手不足の問題もありますが、当面はこのままやっていきます。(議会)

**質問** 議員活動の内容をもっとアピールすべき。

**回答** 議会報・広聴等でいろいろお知らせしていますが、アピールがまだまだ足りていないと思っています。(議会)

**質問** 議案をすべて可決しているが、否決することはないのか。

**回答** 否決件数はありませんが、事前に執行部と協議し、執行部側から取り下げた案件があります。(議会)

### 町に対する質問・意見

**質問** 県道の除雪幅が狭いため、家から車で出るときに左右が見えないので、非常に危険。

**回答** 路肩に堆雪された雪により、見通しが悪い状況であると思われます。県に除排雪の要望をします。町内会長を通じ地域整備課までご連絡ください。(地域整備課)

**質問** 舟形マッシュルームの臭気問題について、議会ではどのように進めているのか。

**回答** 工場の現地視察や臭気対策について、舟形マッシュルームに聞き取り調査を行なっています。(議会)



沖の原公民館 9名

**質問** 除雪の順路変更については、生活道路の除雪を先に行わないで、施設の除雪を優先しているのか。生活道路を先に行なってもらえないか。

**回答** 現場等を確認し、歩行者及び車両通行上見通しが悪い箇所から、順次排雪作業を実施していきます。(地域整備課)

**質問** 向山に通じる国道下のトンネルの除雪がうまくいっていない。大きな段差が生じるので、改善してほしい。

**回答** 今年度から、生活道路を除雪する小型ロータリ除雪車が2台体制となります。生活道路の除雪計画も変更となりますので、しっかりと検討していきます。(地域整備課)

**質問** 生活道路紫山内山線の除雪のあり方について、現在冬期間通行止め所は今後もそうなのか。

**回答** 除雪委託業者から現場状況を確認し、除雪作業による段差発生を委託者と共に検討し、対策を講じ改善したいと思っています。(地域整備課)

**質問** 空き家の除雪はどのようになってきているのか。

**回答** 地域住民にボランティアで除雪をお願いしているのが現状です。町内会で町の補助制度を活用してまいります。(議会)

**質問** 空き家対策で補助金を増額したが、家の大きさなどは関係ないのか。

**回答** 住宅について1軒100万円、付属建物同一敷地内は50万円となっています。町内会長と民生児童委員の同意については平成30年5月1日付けで要綱を改正し、「意見を聴取する」としています。(住民税務課)

**質問** 空き家対策事業では、なぜ民生児童委員の同意が必要なのか。民生児童委員に責任を押し付けているのか。

**回答** 5月1日付けで要綱の見直しを図り、意見を聴取するに改めています。(住民税務課)

**質問** 空き家対策について、空き家になる前に町に空き家バンク登録をお願いしたい人もいるのではないか。そういう方へ声掛けはできないのか。

**回答** 家は財産なので子供や兄弟等の同意が必要だったり、仏様が残っていたりすると、登録することが出来ないのです。町からの声掛けは難しいです。登録できる状態になったら、空き家バンクを活用していただきたいです。(議会)

**質問** 地方交付税の減額の理由は何か。

**回答** 地方交付税は国全体で減額となっています。基礎的数値(人口、児童数、農家数等)の減少や、交付税対象となっている過疎債の元利償還金が減少したことによる減額です。(総務課)

**質問** 予算総括表を見ると総務費、民生費の予算が大きい、どんな内容になっているのか。

**回答** 総務費では、人件費が1億1700万円で、ほかにまちづくり推進費、行政システム事業費、財産管理費、定住推進費、ふるさとづくり応援事業費などがあります。民生費では、社会福祉関係が9000万円、障がい者総合支援、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療費、保育所費等です。(議会)

**質問** 子どもの数が減っている、教育振興資金の利用者も減っていると思う。資金原資が余っているのであれば、一人1か月当たりの借入額を5万円程度に増やせないか。

**回答** 昨年度から5万円に引き上げています。(議会)

**質問** 土木費が減額されているのはなぜか。

**回答** 町営住宅長寿命化工事や除雪センター新築工事が完了したためです。(地域整備課)



紫山公民館 14名

**質問** ふるさと納税の予算が前年の半額となった理由は何か。

**回答** 総務省の指導で、平成30年度から返礼品の割合を5割から3割程度に引き下げるので、納税額も半減するのではないかと予想しているためです。(議会)



経壇原公民館 9名

**質問** 温泉の芝刈り機の予算がカットされている。グラウンドゴルフ場の芝刈りのため、温泉に常備してほしい。

**回答** 既存機械の修理と町内の建設業者さんに作業委託できないか、機械の購入と併せて検討していきます。(まちづくり課)

**質問** 町では少子化対策が行われているのか。

**回答** 今いる人が長生きしてもらうことで、人口減少対策に少しでも協力していただきたいです。他町村からは、子育てに関して舟形町はたいへん進んでいると評価されています。(議会)

**質問** 人口が減少しても「村」にはならないのか。

**回答** 町の定義は自治法で都道府県がその要件を決めることとしています。山形県では、町となる要件の下限人口は8000人となっていますが、町制施行後、人口減少で村に移行した例は全国的にありません。(総務課)

**質問** 町民の人口が減少しているが、どの程度まで町として機能するのか。

**回答** 町の人口ビジョンでは、2040年に4000人超、2060年に3000人超のコミュニケーションをしており、出来るだけ減少の抑制に向けた施策を展開していくこととしています。将来に向け、住む人が誇りを持って暮らせる舟形町を目指します。(総務課)

**質問** 民間賃貸共同住宅等建設支援事業とは何か。

**回答** 民間アパートのオーナーを募集する事業です。一棟あたり1000万円上限で補助金が支給されます。\*一棟：建設する一棟につき、5戸以上の住戸数を有するもの(議会)

**質問** 衛星システム開発事業とは何か。

**回答** 舟形産米のブランドを確立するため、衛星を利用したシステムを開発する事業です。(議会)

**質問** 高齢者先進安全補助事業で、使用者が65歳以上であれば、というが65歳以上ではローンが組めない。

**回答** 65才以上の方が使用することを明確にするため、車検証の使用者の登録を65才以上の申請者(使用者)としています。例えば、息子さん名義でローンを組んでも、車検証の使用者をお父さん名義にできる場合もあると聞いています。販売店、金融機関に再度確認していただければと思います。(住民税務課)

**質問** 消防の活動服の購入とあるが、制服が変わったのか。

**回答** 平成25年に活動服の基準が変更になったことと併せて、夜間作業用のヘッドライトを30年度購入予定です。(議会)

# 貴重な意見ありがとうございます。

## 議会報モニターより



舟形町議会では、議会だよりが町民の皆様との結びつきを強めることができるよう、今年度より町内在住の5名の方に議会報モニターを委嘱しています。

今回は、議会だより174号(4月27日発行)に寄せられた意見や感想を掲載し、十分に参考にし、今後の編集に役立てていきます。

### 1、表紙、見出しについて

- 一人一人の笑顔に見入るくらいの表紙。
- 新年度のスタートにふさわしい内容であった。
- 季節感があって良いが、町報とかぶりそう。
- 新1年生の笑顔の写真で新年度スタートということで、30年度明るい議会だよりになりそう。
- 前の子どもの表情がとてもいいので、もっとアップにしたら良いではないか。

### 2、写真の扱い方

- 新1年生全員の笑顔が見られる写真だとより良かった。
- 18Pの除雪車格納庫新築工事の写真は、どこに新築しているのかわからなかった。
- 質疑応答で、関連する写真が先にでると違和感があった。
- 8Pの自動車の写真でナンバープレートは加工されているが、車のメーカーマークが見える。この写真で特定の車種を推奨していると思われるのではないか。
- 表情のいい写真をアップにすると見やすく引きつけられると思う。子どもの目が輝いているものが良いと思う。

### 3、紙面について

- 議会だよりが年間4回の発行ということもあり、内容が盛りだくさんの構成であった。
- 臨時会、定例会、議会と順序よく掲載されていて良いと思う。
- 3段組みなのに、12~16Pを6段組みにしている。同じ3段組みでいいのではないか。

- 質問** 中古農機導入促進事業は、2戸以上の農家であれば該当するののか。
- 回答** 認定農家以外であれば、該当します。(議会)
- 質問** 中古農機導入促進事業補助金について、米だけでなく、園芸農家も対象になるものはないののか。
- 回答** 園芸については、スタートアップ事業を活用してください。(議会)
- 質問** 防災関係で、町では、危険箇所の点検をしているののか。
- 回答** 毎年6月上旬に土砂災害危険箇所のパトロールを、最上総合支庁建設部河川砂防課、最上広域消防、新庄警察署、舟形町(地域整備課、危機管理室)により実施しています。また、地すべり急傾斜地については、山形県が巡視員を町内の10名の方に委託しており、定期的(月1回)に点検を行い、山形県に報告を行なっています。(地域整備課)
- 質問** デマンドタクシーに替わって、利用者負担が多くなった。町が負担する額が変わっていないのになぜか。
- 回答** デマンドタクシーは予約制で家の前から乗降でき利用しやすくなったと思いますが、今後利用実績を調査し、利用しやすい料金体系を検討していきたいと思えます。(議会)



内山公民館 19名

- 質問** 鮭川村に地元企業就職支援のための高校卒業生のインタビューを載せた冊子があったが、舟形町ではあるののか。
- 回答** 冊子はありませんが、子供たちや保護者、先方に最上管内の企業を見てもらう事業は実施しています。(議会)
- 質問** 税金等の滞納額はいくらか。また、何年で時効になるののか。
- 回答** 水道料金を含め5200万円くらいです。時効は請求する相手がなくなったら場合処分していますが、水道料金には時効はありません。(議会)
- 質問** 町への要望ではないが、郵便局駐車場が狭い。機会を見て郵便局へ伝えたいと思えます。(議会)
- 質問** 民生児童委員の担当戸数が20数戸から110戸とばらつきがある。均等にしてほしい。
- 回答** 民生児童委員の活動は、26人の定数で36町内会を地区担当制で行なっているため、担当戸数に差が出ることは致し方ないことです。なお、戸数の多い町内会は複数担当制にするなど改善を図り、民生児童委員には理解していただいていると認識しています。(健康福祉課)
- 質問** 金山町では町として工場を造り、職場環境を整備しているが、舟形町ではそのようなことは考えていないののか。また、企業の誘致の予定はあるののか。
- 回答** 東京友の会など様々な機会を通じて企業誘致の話をしています。利活用できる町有施設・用地や新庄中核工業団地などを紹介しています。(まちづくり課)



読まれる広報編集のポイントを勉強中

**町民目線での紙面づくりが大切**  
**町村議会広報研修会(5月31日)**  
 第35回町村議会広報研修会が山形国際交流プラザで開催され、当議会からも議会広報常任委員と事務局職員が参加しました。  
 今年度は、議会広報サポーターの芳野政明氏を講師に、「住民に読まれ、伝わる議会広報編集のポイント」について研修を受けました。その後、県内16町村の広報誌に基づいて具体的にクリニック形式による説明を受けました。  
 研修を活かし、町民が興味を持ち読んでいただけるよう紙面編集を工夫しながら、議会だよりづくりに努めていきます。



北海道・東北地区町村議会広報クリニック  
 (第一分科会の研修状況)

**伝わる紙面の編集技術を研修**  
**全国議会広報クリニック(7月11日)**

全国町村議会議長会が主催する、今年度の町村議会広報クリニックが7月11日に全国町村議会議長会館で開催されました。北海道・東北地区の20町村議会が参加し、自治体広報広聴研究所代表の金井茂樹氏より研修を受けました。

今回は、「伝わる議会報づくりのヒント」として「自治体広報の理論」や「議会報の企画と編集」などについての講義を受け、4町村の議会報と議会広報コンクルールの優秀誌を参考に、編集方針の重要性や企画・編集技術のポイント等を学びました。  
 今回学んだことを、今後の紙面づくりに生かしていきたいと思えます。

**4、議会報を通じて、欲しい情報は**

- ・今現在、議員として取り組まれている事業内容がわかるような紙面があれば良いと思う。
- ・各議員の活動報告や行事参加状況など。
- ・縄文の女神公園や女神の丘について今後の予定。
- ・舟形町にエコ住宅があるが、今後町内に増築はないのか。また、今までの成果について。
- ・各町内にある神社や史跡、行事など。

**5、議会・町に対する要望、意見等**

- ・中央公民館をもっと入りやすい、だれでも気軽に入れるような体制づくり。
- ・4月にデマンド型乗合タクシーが開始したが、利用者の声や利用状況などを取り上げ、より利用しやすいものにしてほしい。
- ・舟形町無形文化財である長沢和紙、舟形の観光の1つにもなりうるものなので、政策として取り上げてほしい。
- ・高齢者が住みよい舟形町の将来像。

**6、その他**

- ・町の空き家は、これからも増える一方だと思う。今年から「住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修支援事業」の実施予定があるようなので、子育て支援住宅の抽選にもれた方や入居期限が近い方がその後も舟形町に定住できるよう、2～3軒程度、整備済みの空き家があれば良いと思う。また、それらの情報もあれば、舟形町の子育て政策や環境の良さから、他市町村から舟形町へ住みたいと考える人もいるのではないだろうか。  
 (8Pの民間賃貸共同住宅等建設支援事業でのアパート建設もそうだが、整備した空き家の賃貸も良いと思う。)
- ・各議員の活動報告や参加行事、町民とのふれあいなどの報告コーナーを掲載してはどうか。
- ・各委員の方々の活動を詳しく掲載しており、十分だと思う。



また、よろしく  
 お願いします。

数多くのご意見ありがとうございます。編集委員会で検討して改善できるところから行なっていきたいと考えています。引き続き、ご意見をお願いします。

**「議会だよりふながた」の表紙写真を募集しています。**



「議会だよりふながた」の表紙写真を次のとおり募集します。皆さんの応募をお待ちしています!!

- ◆募集内容  
 年4回発行の「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報紙とするため、表紙の写真を公募します。  
 ・テーマ例：季節にあった舟形町の風景、イベント、行事の写真や、人が何かを楽しんだりがんばっている姿など、希望や元気をもらえる写真など。
- ◆応募方法：写真データを議会事務局へ持参するか、電子メールで送付してください。
- ◆問合せ：舟形町議会事務局 電話32-2111 内線251  
 gikai@town.funagata.yamagata.jp

引き続き環境対策に取り組まれない

総務振興常任委員会

- 1. 期 日 平成30年6月13日(水)
- 2. 調査内容(状況説明、現地視察)
- (1) 有限会社舟形マッシュルームの事業内容について

①概要

- ア. マッシュルームスタンド舟形の運営状況
- イ. 新商品開発への取り組み
- ウ. 臭気対策の状況

②現地視察

- ア. マッシュルームスタンド舟形の売り上げについては伸びつつあるが、まだまだ厳しい状況にある。
- イ. 乾燥マッシュルームを使用した加工商品がたいへん好評で、今後増産も含め考えている。
- ウ. 今年の2月頃に地下貯水槽が完成し、工場内の排水対策に取り組んでいる。

臭気対策としては、ネットや消臭噴霧装置等で対策を行っており、今後も消臭噴霧装置の増設を検討している。

③所感

有限会社舟形マッシュルームは、現在従業員が125名とたいへん大きな企業として成長しているため、今後の活躍に期待する。また、今後も臭気問題や環境対策に万全を期して取り組んでいただきたい。



デマンド型乗合タクシー出発式



舟形小学校運動会

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各地区行事等に参加しています。

教育と福祉のさらなる充実を

文教民生常任委員会

- 1 期 日 平成30年6月29日(金)
- 2 調査内容(状況説明)

(1) 保、小、中一貫教育の現状について

①一貫教育のねらい

ア. 知、徳、体の生きる力の育成  
一人一人のきめ細かな指導の充実を図るため、保、小、中の全児童生徒のスクーリングやスクールカウンセラーの活用を行っていた。

(2) 国民健康保険制度の改正について

①制度見直しの背景

ア. 団塊の世代が75歳以上になる2025年には国民医療費の総額が61・8兆円の見込みとなっているため、年齢構成や医療費水準が高いことや所得水準が低く保険料の負担が重い等の国民健康保険制度の構造的課題が指摘されている。



消臭噴霧装置の増設を検討

②見直しの柱

ア. 国の責任として約3400億円の追加的財政支援を行う。

イ. 都道府県と市町村が保険者となり、それぞれの役割を担う。

(3) 障がい者の働く場所や制度の現状について

①利用している事業所と仕事内容

ア. A型4事業所、B型9事業所で、就労の内容としてはPCの解体、資源リサイクルの仕分け、部品組立、菓子づくり、野菜づくり、袋詰め、シール貼り等が主な作業内容で、障がい者の自立と社会参加の実現が目標になっている。

3 所 感

(1) 小学校、中学校共に不登校の生徒がいないことは、喜ばしいことである。

小中の学校運営協議会のほかに、保小中一貫教育推進委員会が本町の特色であり、大きな効果を期待したい。

(2) 障がい者の自立と社会参加の実現が重点項目になっており、総合的な相談業務の充実を努めていただきたい。



現状説明について質疑中

表紙のごとび

7月6日にB&G体育館で、中学生を対象に「おかえり！孫プロジェクト」の一環として、地域の企業14社がブースを設け、生徒はグループで希望を採らずランダムに職業を体験できる「ふながたWAKU WAKU WORK」が実施されました。

孫プロジェクトとは、町内の孫たち(若者)が定住を、町外の孫たちが移住(UーJターン)を、したくなるように、町内外の孫たち(若者)に町や地域の魅力を伝えるプロジェクトです。

議会のうごき

- ▶ 4月 1日 デマンド型乗合タクシー出発式
- 6日 ほほえみ保育園入園式  
議会改革特別委員会
- 7日 舟形小学校入学式  
舟形中学校入学式
- 11日 第10回議会報告会
- 12日 議会報編集委員会  
第10回議会報告会
- 20日 議会報編集委員会
- 29日 舟形中学校春季大運動会
- ▶ 5月 1日 全員協議会
- 5日 春季消防演習
- 9日 議会改革特別委員会  
第2回臨時会
- 21日 議会運営委員会
- 27日 舟形小学校運動会
- 30日 議会運営委員会
- 31日 町村議会広報研修会
- ▶ 6月 5日 6月定例会(～7日)
- 13日 総務振興常任委員会所管事務調査
- 24日 消防団ポンプ操法大会
- 28日 議会改革特別委員会  
議会報編集委員会
- 29日 文教民生常任委員会所管事務調査

次回の定例会は

9月4日(火)  
～12日(水)

までの予定です。

どなたでも議会を傍聴することができます。  
皆さまの傍聴をお待ちしております。



今回は、舟形第1の叶内崇朗さんと結婚した、舟形第3出身の弘美(旧姓渡辺)さんです。  
皆さんよろしくお願いします。

♥どんなきっかけで知り合いましたか？

中学校の同級生でした。  
私は舟形小、主人は長沢小だったので、中学校で初めて顔を合わせました。

♥舟形町での生活はどうですか？

様々な面で不便だなと思うことはありませんが、周りに助けていただきながら生活しています。

♥舟形町の良いところ・悪いところはありますか？

良い所 自然が豊かで、空気やお水がきれいなこと。  
また、人の温かさを感じられること。

悪い所 車がないと生活に困ること。

♥舟形町に望むことはありますか？

もう少し交通手段が良くなればなと思います。  
また、子育て支援住宅や町営住宅以外にも、普通に契約の出来るアパートなどあったらなと思います。

### 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

私は、舟形町にある社会福祉法人にて、事務・管理の仕事をしています。「福祉のまち」舟形町には、東北で初めて開所した障がい者支援施設や特別養護老人ホーム及び小規模多機能型福祉施設、老人保健施設等があり、充実した福祉サービスがあると思います。

私が、障がい者支援施設に勤務してから15年以上が経過しました。幼いころから訪れていた施設で、勤務していることに大きな縁を感じています。しかし、福祉の現場は深刻な人材不足です。人と人とのつながりが重要な福祉の現場は、現代社会において敬遠されているのかもしれませんが、たいへん有意義な仕事です。また、舟形町においても重要な雇用の場にもなっています。  
子どもたちが、地域の福祉を担う存在になっていくような「きつかけづくり」を、今後も町政に期待していきたいと思っています。



光生園管理係長  
沼澤 功一 さん  
(舟形第4)

(議会より)  
議会としても、福祉のまちづくりをさらに進めます。

### 編集後記

6月12日、史上初となる米朝首脳会談が行われ、安全非核化が約束されたことで、ミサイル飛来が無くなることに安堵しています。また、拉致問題の一日も早い解決を望みます。

西日本では豪雨により甚大な被害が発生しました。犠牲になられた多くの皆様に心からお悔やみ申しあげるとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りします。

議会では、第10回の議会報告会を4町内会で開催し、多くのご意見や質問をいただきました。今後の議会改革や議員活動の参考にしたいと思います。また、議会報毛ニターの皆さんからの意見も取り入れ、町民の皆様にご覧される・伝わる広報誌制作を目指します。

(伊藤 欽一 記)

### 発行責任者

議長 八 欽 太  
議会広報常任委員会  
委員長 佐 藤 勇  
副委員長 伊 藤 欽 一  
委員 奥 山 謙 三  
委員 石 山 和 春  
委員 小 国 浩 文

